

平成30年度 行政評価事業別シート

実計対象		■	評価対象	■	新規	□	完了事業	□	ゼロ予算事業	□	担当者	警防課
全体計画						経費区分	実施計画事業費		内線		3781	
事務事業名		6369 消防団機械力整備事業										
所 属		450100 消防本部・消防本部・消防署										
施 策		03021400 消防・救急体制の充実										
予 算		01 一般会計										
科 目		090102 消防費・消防費・非常備消防費										
事 業		030000 消防団機械力整備事業										
事業目的						事業概要・効果						
消防団車両及び資機材等の計画的な整備更新を行い、消防力の充実強化を図る						経年機能低下する消防団積載車、小型動力消防ポンプ及び資機材等の更新及び充実強化						

PLAN-DO

年度実績及び予定

平成27年度 実績	平成28年度 実績
・積載車の更新整備 ・小型動力消防ポンプの更新整備	・積載車2台の更新整備 ・小型動力消防ポンプ1機の更新整備
平成29年度 実績	平成30年度 予定
・積載車2台の更新整備 ・小型動力消防ポンプ2機の更新整備 ・重量税 $\yen 6,600 \times 2 = 13,200$ ・自賠責 $\yen 8,570 + \yen 8,910 = 17,480$ ・リサイクル $\yen 34,000 \times 2 = 68,000$	・積載車2台の更新整備 ・小型動力消防ポンプ2機の更新整備
平成31年度 予定	平成32年度 予定
・積載車の更新整備 ・小型動力消防ポンプの更新整備	・積載車の更新整備 ・小型動力消防ポンプの更新整備

指 標 名	出火率の減少					
算 式	-					単位
年 度		平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
目 標 値	目 標					
	実 績					
指標選定の理由	-					
最終年度 目標の根拠	-					
指 標 名						
算 式						単位
年 度		平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
目 標 値	目 標					
	実 績					
指標選定の理由						
最終年度 目標の根拠						
指 標 名						
算 式						単位
年 度		平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
目 標 値	目 標					
	実 績					
指標選定の理由						
最終年度 目標の根拠						

事業費

(単位：千円)

		平成29年度 決 算	平成30年度 予 算
事業費		12,882	15,989
特 定 財 源	国庫支出金	0	0
	都道府県支出金	0	0
	地方債	10,500	12,400
	その他	828	1,000
一般財源		1,554	2,589
人員数 (人)	正規職員	0.2	0.2
	嘱託職員	0.0	0.0
	臨時職員	0.0	0.0
人 員 コスト	正規職員	1,429.8	1,429.8
	嘱託職員	0.0	0.0
	臨時職員	0.0	0.0
	計	1,429.8	1,429.8
市民一人当たりの経費		0.3	0.3
総額		14,311.8	17,418.8

(単位：千円)

平成29年度決算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
8節 報償費	0	
11節 需用費	0	
13節 委託費	0	
15節 工事請負費	0	
19節 負担金補助及び交付金	0	
その他	12,882	備品購入費12,836、登録手数料33、公課費13

(単位：千円)

平成30年度当初予算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
8節 報償費	0	
11節 需用費	0	
13節 委託費	0	
15節 工事請負費	0	
19節 負担金補助及び交付金	0	
その他	15,989	備品購入費15,885、登録手数料86、公課費18

CHECK

個別評価		
項目	評価観点	評価内容
必要性	・市民の生命・財産を守るため市が実施することが必要不可欠な事業であるか ・行政内部の管理運営上必要な事業であるか ・市が主体となり実施すべき事業か ・法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか ・目的は結果（施策の目指す理想）に結びついているか	必要不可欠
評価コメント	各種災害に対応する消防力の向上が図れた	
有効性	・事業の成果は上がっているか ・目標に対する達成度は十分か ・市民生活上の課題解決に貢献しているか ・行政内部の管理上の課題解決に貢献しているか ・事業の目的が達成できるような事業内容になっているか	大変有効
評価コメント	経年によって性能低下する車両、小型動力消防ポンプ及び資機材を高性能な最新式に更新して機械力の向上を図れた	
効率性	・成果を落とさずにコストを削減する方法はあるか ・効率性向上に努めているか ・使用料などの受益者負担や補助対象事業の範囲など、財源確保の余地はないか	やや向上
評価コメント	コミュニティ事業等の有利な財源確保に努めた	

振り返り（決算年度の取組み課題）

最新型の車両、小型動力消防ポンプ及び資機材を導入更新して機械力向上が図れた
 有利な補助事業にアンテナを張る

ACTION**1次評価**

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
総合評価コメント	
・コミュニティ事業の活用や緊防債を活用し機械力向上に努めた	

2次評価

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
2次評価コメント	
自治体消防の原則により、消防団機械力を更新整備を継続していく必要がある。	

外部評価

次年度以降の方向性	
外部評価コメント	